



- [TOP] 一流企業TOPインタビュー
「ヒビノ株式会社」
- 2. Information / 5分でエッセンスが分かるビジネス書 /
5分で分かる!ビジネスキーワード
- 3. Information
- 4. 第5回 港区ものづくり・商業観光フェア

TOP
INTERVIEW

ヒビノ株式会社

代表取締役社長(CEO) 日比野晃久(ひびの・てるひさ)氏

音響と映像でアーティストを支え50年 「ハニカム型経営」でさらなる進化へ

音と映像のプレゼンター、ヒビノ株式会社は、国内外の有名アーティストのコンサートや展示会、イベント等を音響と映像でサポートしているほか、プロ用輸入音響機器の販売でトップシェア、大型

のLEDディスプレイ・システムの製造・販売にも進出する等、“知られざるオンリーワン企業”です。今年創業50周年を迎える同社の歩みと2020年に向けての展望を日比野晃久社長に聞きました。



日比野晃久氏

FRONTビル壁面の大型LEDディスプレイシステム 街頭ビジョンとして国内最大級



B/Z、浜崎あゆみ、GLAY、矢沢永吉、山下達郎、EXILEといったビッグアーティストの大規模コンサートで音響・映像を担当しているのがヒビノ株式会社です。2013年度は主要アリーナで開催されたコンサート1060公演のうち649公演を、5大ドームコンサート184公演のうち120公演を同社が担当しました。

こうしたコンサート音響以外にも、東京モーターショー等の展示会やイベントで映像システムを手がけるほか、2002年には大型のLEDディスプレイ・システムの開発・製造・販売にも進出し、商業施設や街頭ビジョン等に数多く採用されています。身近なところでは、渋谷のスクランブル交差点にあるFRONTビル壁面の大型ビジョンが同社の実績の一つです。

創業時は都内のジャズ喫茶に音響機器を販売

「もともとは都内のジャズ喫茶向けに業務用の音響機器を販売してました。創業者(取締役会長の日比野宏明氏)には、音響屋として日本一になるという志があって、日本武道館等で来日公演を行う海外アーティストが増えてくると、海外の優れた音響器材とオペレーターを同時に提供する体制を整え、コンサート音響(PA)事業に本格参入していきました(日比野氏)。



TEAM H PARTY ~I just wanna have fun~ JAPAN TOUR

大規模コンサートが急増した1970年代。ピンク・フロイド、トム・ジョーンズ、ボブ・ディラン等、そうそうたるアーティストのコンサートをサポートし、彼らの要望に応え、信頼を得ることでPAのパイオニアとして業界トップの地位を同社は確立していきました。当時、小学生だった日比野氏も多くの現場へ見学に行ったそうです。

特徴ある事業を次々生み出し強い組織構造を実現

PA事業と並び、同社の大きな柱となっている映像事業を立ち上げたのは、ほかならぬ現社長・日比野氏です。国内で初めてマルチビジョン映像を舞台装置として導入。音と映像の複合的な演出の先駆けとなりました。当初、コンサートでは映像演出の

「技術へのこだわり、音と映像で世界一を目指す心意気をもった人材が、年間5000本を超えるコンサートやイベントに携わっています。それだけの物量をこなす彼らの豊富な経験と器材は世界でも有数の規模です。また、音響と映像それぞれの事業で機

器の販売とサービスを提供するビジネスモデルは、他に例がありません。自社の強みについて、日比野氏はこう説明します。

さらなる進化に向けて目指すところは「ハニカム型経営」だそう。ハニカムとは蜂の巣のこと。正六角形を隙間なく組み合わせたハニカム構造は、少ない部材で強度が高いことからさまざまな工業・産業分野に応用されています。「ハニカム構造のように一つひとつは小さなユニットであっても、特徴的な強みを備えた複数の事業を組み合わせれば、仮にその一部がダメになったとしても、グループ全体としてはビクともしません(日比野氏)。

景気動向や外部環境に左右されにくい企業体質に変わるには「中小企業こそ、ハニカム型経営を標榜すべき」と日比野氏は話します。

昨年は、M&A(合併・買収)を活用した事業展開で、照明事業やライブハウス事業がハニカムに加わりました。今後はものづくり事業の強化を図り、世界展開も視野に入れています。そんな同社にとって、2020年の東京五輪開催は大きな「追い風」となりそうです。「首都圏エリアの各種インフラ整備にともない、音響・映像に関連する当社の製品・サービス等の需要は拡大していくでしょう。世界展開としては、LEDディスプレイ等、高品質の製品を海外に販売し、世界一の座を目指したい(日比野氏)。

創業50周年を迎え、さらなる飛躍が期待される日比野氏に、港区の魅力について伺いました。「住んでよし、ビジネスにもよし。下町の人間味と最先端都市の利便性が共存する地域です。本社を置くなら、港区以外は考えられません(笑)」

●連絡先
住所: 港区港南3-5-14
電話: 03-3740-4391(代表)

区の情報

企業間連携第2回交流会・分科会

「デジタルコンテンツが拓く

新ビジネス創出セミナー2014」のお知らせ

デジタルコンテンツ産業の市場は数兆円規模に成長し、急速な技術発展に伴って斬新なアプリケーションが続々と産み出されています。

本セミナーでは「デジタルコンテンツ分野における最先端技術」「優れたクリエイター人材が国内外で活躍できる環境と促進するサービス」について8件紹介し、多様な企業間連携を促進することで、新ビジネスの創出をめざします。

セミナー終了後に、講演者との交流や名刺交換の時間を設けます。皆さんの参加をお待ちしています。

◆対象

中小企業の経営者・従業員

◆とき

11月10日(月) 分科会：午後1時～午後5時
交流会：午後5時10分～午後6時10分

◆ところ

港勤労福祉会館(港区芝5-18-2)
地下鉄浅草線・三田線「三田駅」徒歩1分

◆内容

(1) 人間らしく自然で自由な音声合成エンジン「AITalk®」による新しいコンテンツビジネス
(株) エーアイ 代表取締役 吉田大介氏

(2) 2Dによる立体表現「Live2D」の多様な用途展開
(株) Live2D 取締役 石川源次郎氏

(3) 「圧倒的に美しい映像」と「快適な動作」を実現した360°動画コンテンツ制作サービス“em360”
(株) 大手町広告 プランニング局長 吉田顕一郎氏

(4) 見えないドットコード“Grid Onput”による電子黒板・タブレット端末用次世代インタフェースを実現
(株) グリッドマーク 代表取締役社長 吉田健治氏

(5) Beaconで何が出来るの?～i Beacon入門と活用方法～O2O だけではない!? ACCESS Beacon Frameworkを活用した新ビジネスの可能性
(株) ACCESS スマートセンサー事業推進室室長 山田淳一氏

(6) オンライン型翻訳プラットフォーム“Yaraku Zen”による優しい海外コミュニケーションの実現
八楽(株) 取締役COO 湊幹氏

(7) 「共感」で仲間とつながり、「はたらく」を面白くするソーシャルリクルーティングサービス
(株) ウォンテッドリー 代表取締役 仲暁子氏

(8) “異なる才能の融合”を目指した才覚溢れるクリエイターとの連携が拓く新ビジネス
(株) MONOKROM 代表取締役 筒井真人氏

◆定員

80人(申込先着順)

◆費用

無料

◆申し込み

11月6日(木)までに申し込みが必要です。

港区コールセンター

電話：03-5472-3710 / FAX：03-5777-8752

受付時間：午前9時～午後5時(無休)

詳しくは、産業振興課ホームページ

「MINATO あらかると」

<http://www.minato-ala.net/guide/kenshu/seminar/2014/1003.html>

をご覧ください。

<問い合わせ> 産業振興課産業振興係
電話：03-3578-2551

中小企業人材育成塾のご案内

「プレゼンテーション研修」受講者募集

プレゼンテーションスキルは、仕事をするうえで、誰もが身につけたいスキルのひとつです。

プレゼンテーションの上達に特効薬はありませんが、苦手意識を払拭し、準備と練習によって誰でも確実に上達することが可能です。奮ってご参加ください。

◆対象

区内中小企業の経営者・従業員

◆とき

12月5日(金) 午前9時30分～午後4時30分

◆ところ

港勤労福祉会館 1階 第1洋室(港区芝5-18-2)
JR「田町駅」西口(三田口) 徒歩5分
地下鉄浅草線・三田線「三田駅」徒歩1分

◆内容

- プレゼンテーションの基本を習得
- プレゼンテーションを成功させるコツ・ポイントを知る
- 具体的な事例(プレゼン内容)活用
- 実践プレゼンテーション演習

◆定員

30人(定員になり次第締切り)
※欠席の場合は必ずご連絡ください。

◆費用

2000円
※5営業日前(11月28日)からのキャンセルは研修テキストの送付をもって受講料をご負担いただきます。

◆申し込み

WEB申し込みフォームのみで受付
11月28日(金)までに
産業振興課ホームページ「MINATO あらかると」
<http://www.minato-ala.net>
からお申し込みください。

<問い合わせ> 産業振興課産業振興係
電話：03-3578-2551

平成26年度の新規認定企業が決定!

「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業」

区では、仕事と子育ての両立や、男女がともに働きやすい職場を実現するために、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる中小企業を「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その活動を積極的に後押ししています。

このたび、平成26年度の新規認定企業と、既認定企業による取組分野の追加が区のとおり決定しました。今後、区では、認定企業の活動を区のホームページや港区広報番組等において広く紹介します。また、この認定は「特別簡易型総合評価方式」(試行実施)による工事の入札において加点対象となっています。

来年度の募集は、平成27年4月発行の、広報みなと等でお知らせします。

◆認定の対象

「子育て支援分野」「地域活動支援分野」「介護支援分野」「働きやすい職場環境づくり分野」の4分野です。

詳しくは、港区ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/jinken/kurashi/hewa/danjo/26worklifebalancenintei.html>

<問い合わせ> 総務部総務課人権・男女平等参画係
電話：03-3578-2027

表 平成26年度新規認定企業一覧(取組内容:抜粋)

認定 子育て支援・職場環境づくり

クロスコ(株)

育児短時間勤務制度を導入。育児休業等の子育て両立支援制度を社内イントラネットに掲示、全社への周知を行っている。取得予定者や復帰者向け相談窓口を設置し意見聴取を行ない、復帰者の事例を踏まえて制度の改善や見直しに取り組む体制を整えている。

認定 子育て支援・職場環境づくり

(株) プレシャスライズ

社内福利厚生制度として、自社業務の家事代行を社員割引で利用できる制度を導入。また、スタッフの要望を受け時短勤務を可能とする等、ヒアリングや自己申告制度により、勤務時間や勤務地、担当業務等について配慮している。社長自ら制度に取り組み実践するとともに、担当者を任命して具体的な戦略を構築する体制を整えている。

認定 職場環境づくり

(株) ホスピタリティワン

i pad及び訪問看護クラウドサービスの導入で日頃から業務負担の大きい訪問後の記録や請求業務の効率化を図っている。また、サイボウズliveの導入により情報共有が容易となり、メール量も削減。業務特性からメンタルヘルスにも力を入れており、全社員による交流会等、普段から話しやすい環境ができています。

認定 子育て支援

(株) リベロ・パーフェクション

出産し、育児に取り組む社員第1号がでたことで仕事と子育ての両立に必要な制度を社内会議で整備し、対象者に合わせて制度を作成した。出産した社員への育児休業取得促進と復帰後のフォロー、育児中の短時間勤務を適用。

認定 職場環境づくり

ジャトー(株) 東京支社

安全衛生委員会(月1回)で労働時間の確認と該当者に指導し、長時間労働削減に対する意識付けを行った。また、年間研修計画により労務・業務管理等の研修を実施し、業務効率化と長時間労働の削減に向けて、業務上必要なこと(need to have)とサービスとしてできた良いこと(nice to have)の仕分けをすることを学んだ。

分野追加認定 職場環境づくり

(平成25年度認定企業 子育て支援)

(株) ルナサウンド

業務を複数人で分担する等により、短時間勤務の採用や、子どもがけが・病気のときに看護休暇を取りやすい体制を整えている。また、部門間の連携等の業務体制に問題がある場合は現場からヒアリングして改善を図り、負担が偏らないよう連携しあう体制を整えている。

エコプラザ・商工会館 共催連続講座
～第2回 自転車通勤の国内事情～のご案内

欧米を中心として、街中を自転車で移動する人々は年々増えています。

環境・健康・経済面、どれをとっても自転車による移動はメリットが多いですが、日本はまだまだ自転車利用後進国。自転車通勤をする場合、周囲の理解や環境の整備が課題となりがちです。

そこで、自転車をもっと身近に楽しむためのノウハウやポリシーを、長年、人々の自転車活用を提唱している疋田智(ひきた さとし)氏を講師に迎え、教えていただきます。

港区のような都心にいるからこそ、試してみたい自転車を利用した生活。あなたも始めてみませんか?

◆とき

11月7日(金) 午後6時30分～午後8時

◆ところ

港区商工会館
(港区海岸1-7-8 東京産業貿易会館6階)

◆定員

30人(申込先着順)

◆申し込み

商工会館に電話するか、申込書をFAX送信、または商工会館の受付窓口にて手続きしてください。

電話：03-3433-0862 / FAX：03-3436-2498

受付時間：午前9時～午後5時

申込書は、商工会館ホームページ

<https://minato-shoukou.jp/2844>

からダウンロードできます。

<問い合わせ> 港区商工会館

電話：03-3433-0862

企業経営のためのビッグデータ活用
新たなビジネスチャンスの創出に向けて

芝浦工業大学では文科省「地(知)の拠点整備事業」の一環として、ビッグデータをテーマに、地域の産業振興や人材育成の活動として、講演会を開催します。

INFORMATION その他

講演内容は、地域の企業・商店の経営に役立つ知識、地域住民や港区に多い外国人や外国人観光客へのサービスに関連する知識等が中心に行われます。皆様の参加をお待ちしています。

◆とき
11月26日(水) 午後1時～午後5時

◆ところ
芝浦工業大学 芝浦キャンパス8階802教室
(東京都港区芝浦 3-9-14)

◆プログラム
(1)御挨拶
佐々木貴浩氏 (港区産業振興課長)

(2)「芝浦工大の産学連携および地域連携活動」
戸澤幸一氏 (芝浦工業大学 デザイン工学部デザイン工学科教授、学長補佐)

(3)「ビッグデータ活用の現状と課題」
平田貞代氏 (芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科准教授、元富士通)

(4)「ビッグデータを活用した市場競争力」
中林紀彦氏 (日本アイ・ビー・エム株式会社 ビッグデータ&アナリティクス アーキテクト)

(5)「ビッグデータ 分析・活用の要諦～マーケティング活用の視点から」
神田晴彦氏 (野村総合研究所上級研究員)

(6)「NY シティマラソンから見えてくること」
橋本純一郎氏 (マイクロシステムズ株式会社 代表取締役)

◆参加費 無料
◆主催 芝浦工業大学
◆共催 港区

◆申し込み
ホームページ
<http://www.plus.shibaura-it.ac.jp/coc/events/518>
からお申し込みください。
または、Eメール
sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp
※名前・所属・連絡先をお知らせください。
<問い合わせ> 芝浦工業大学
複合領域産学官民連携推進本部
電話：03-5859-7180

その他のインフォメーション

創業・事業転換を目指す方へ 東京愛宕創業支援塾のご案内 (全4回)

東京愛宕ロータリークラブでは、創業や事業転換をめざす人を支援するため、支援塾を開催します。全4回の予定で、毎回テーマを変え、スピーカーが講演を行います。その後、参加者の皆さんの希望や不安について、ディスカッションを行います。毎回、東京愛宕ロータリークラブのメンバーである経営者、コンサルタント、投資家、弁護士、税理士等がディスカッションに参加し、応援します。第4回は投資家向けにプレゼンするチャンスもあります。ぜひご参加ください。

◆とき
第1回 9月30日(火)<終了>
第2回 11月26日(水)
第3回 平成27年2月10日(火)
第4回 平成27年4月22日(水)
全4回とも午後6時30分～8時45分(受付午後6時～)

◆ところ
国際文化会館 (港区芝六本木5-11-16)

◆<第1回東京愛宕創業支援塾>プログラム(参考)
<第2回以降のプログラムは未定です。決定次第、下記ホームページに掲載します。>
午後6時30分～午後7時10分

第1部【基調講演：対話形式】
山田敏夫氏
(ライフスタイルアクセント(株) 代表取締役)
尾関勇氏 (東京愛宕ロータリークラブ 会長)
午後7時10分～午後7時55分

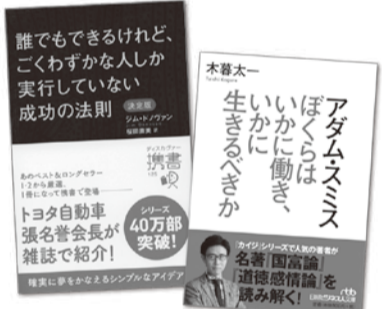
第2部【パネルディスカッション】
山田敏夫氏
(ライフスタイルアクセント(株) 代表取締役)
國松晃氏
(株式会社チカラめし 取締役社長CEO)
大手ナビゲーションサイト運営・開発会社役員
コーディネーター：島津秀隆氏
(東京愛宕ロータリークラブ 青少年奉仕委員長)
午後8時～午後8時45分

第3部【参加者によるグループディスカッション】

◆参加費
2000円 (1回参加でも全4回参加でも2000円)

◆申し込み
ホームページの応募フォームにて受け付けています。詳しくは「東京愛宕創業支援塾」ホームページ
<http://atago-sogyo.com>
をご覧ください。
<問い合わせ> 東京愛宕ロータリークラブ事務局
電話：03-3568-3827
E-mail：office@atagorotary.com

5分で エッセンスが分かる ビジネス書 No.18



「どん底」から立ち直りたい人、必読
『誰でもできるけれど、ごくわずかな人しか実行していない成功の法則 決定版』
ジム・ドノヴァン(著)・桜田直美(翻訳)
デイスカヴァー・トゥエンティワン / 1188円

「私の人生はまさに破滅していた」という、アメリカの自己啓発作家ジム・ドノヴァン。精神的にも、肉体的にも、経済的にも、すべてが最悪な状態から、どうやって立ち直ったのか。自らの体験に基づき、実践的で効果的であった「成功の法則」を本書で紹介しています。

「今すぐ、始める」から「成功すると決心するまで、103の提言があり、どれも大変シンプル。特に「先延ばししてきたものに、すぐに手をつけよう」と自ら行動することに力点が置かれています。

同著は、今や世界各国で翻訳され、ベストセラーになっています。

Business Book Review

『アドラム・スミス いかに働かざるべきか』
木暮太一(著)
日本経済新聞出版社 / 864円

経済ジャーナリストの木暮太一氏が「経済学の父」というイメーজの強いアドラム・スミスの、もともとは道徳哲学者という面に着目して書いた本です。中世ヨーロッパで説かれた哲学とはいえ、人間の本性は変わらないと考える木暮氏は、スミスの『国富論』と『道徳感情論』から、スミスが「正しく生きるために必要なこと」として指摘したことを、本書で紹介しています。

それは「自分の中に、正しい「軸」を持っている人間は、正しく、幸福に生きられるということ。この考え方が、今の現代日本で、私たちが感じる生きづらさを解消するとして、わかりやすく書かれています。

5分で分かる！ ビジネス キーワード No.18



ノマド(nomad)は、もともと英語で「遊牧民」の意味です。それが転じ、IT機器を使用して、組織・時間・場所にとらわれず仕事をする新しいワークスタイルを指す言葉として使われています。具体的には、自宅や会社ではなく、例えば喫茶店やファーストフード店等でノートパソコンやタブレット型端末等を使って仕事をします。このような働き方を「ノマドワーカー」と呼びます。ノマドワーカーにも、自由度・専門分野・お金の稼ぎ方等により様々なスタイルがあり、会社員でも時間と場所の自由を手に入れている人は広義のノマドワーカーといえます。満員電車や残業から開放され、自分の時間を増やす豊かな働き方として注目されています。

近年のWiFi環境の整備、高性能で廉価なノートパソコンやス

Business Keyword

ノマドワーカーには、ITスキルや専門知識、さらに積極的な情報取得や、仕事をコントロールする自律心も不可欠です。ノマドは、単にオフィスを持たないという働き方だけではなく、その可能性やライフスタイルを包括した概念でもあります。

ノマドワーカーの普及、ソーシャルメディアやクラウドサービスの発達等により、ノマドを実践する環境が整いました。また、産業構造の変化により、様々なスキルを持つ個人が会社の枠を超えて参加するプロジェクトが増えていることも、ノマドワーカーが増えている要因の一つです。

若者を中心としてノマドに注目が集まる理由は、既存の社会や会社組織に対しての閉塞感があります。終身雇用が崩壊し、大企業に入っても幸せになれないという不安と、会社にとられない自由な働き方への憧れ等が、ノマドが脚光を浴びる背景となっているようです。

魅せます MINATOブランド

第5回 港区ものづくり・商業観光フェア

「港区ものづくり・商業観光フェア」は、区の産業・商業・観光の魅力をまとめて紹介するイベントです。5回目となる今年は六本木ヒルズで開催します。秋の休日、地元の魅力に改めて触れてみませんか。

とき 11月21日(金)▶22日(土) 午前11時～午後7時

ところ 六本木ヒルズ 大屋根プラザ&アリーナ
(港区六本木6-10-1)

アクセス 東京メトロ 日比谷線「六本木駅」1C出口 徒歩0分(コンコースにて直結)
都営地下鉄 大江戸線「六本木駅」3出口 徒歩4分

大屋根プラザ

国際的と和の融合

- 区にある大使館の中から、19カ国もの大使館が大屋根プラザに出展。各国の工芸品、民芸品、特産品を展示販売し、自国の魅力を紹介します。区が持つ国際的な面を体感できます。
- 和の文化満喫コーナーでは、簡単型染め体験や、優しく美しい和の光を堪能することができます。

第12回 港区観光
フォトコンテスト
入賞作品が
展示されます。

港区観光協会による「港区の魅力」を表現した写真のコンテスト。一般公募から選ばれた作品が楽しめます。



ステージ

伝統の音色とダンスのハーモニー

- 伝統工芸士、伊東良継氏によるトークショーと三味線の演奏が行われます。
- キッズダンサーによる元気いっぱいのダンスが開催されます。
- 世界各国のダンスも楽しめます。



三味線 伊東良継氏(石村屋 二代目)

六本木ヒルズアリーナ

魅力あふれる港区の商店と産業体験コーナー

- さまざまな商店が、各商店自慢の飲食物や、雑貨等を販売します。
- 3Dプリンター等の先端技術から和綴じ等の伝統ある技術まで、見て、触れて、体験できます。

リアル宝探し

抽選で豪華賞品をゲット!

参加無料



謎解き地図を読み解きながら、区内4カ所に隠された宝箱を探してキーワードを見つけた人に豪華賞品が当たります。

謎を解いて、六本木ヒルズへ行きましょう。

※詳しくは港区観光協会ホームページをご覧ください。
(地図も入手できます。)

<http://www.minato-kanko.com>

前回(第4回 港区ものづくり・商工観光フェア)の様子



※内容等は変更になる場合があります。

問い合わせ

産業振興課商工観光担当

電話 03-3578-2554

【参加団体】

港区商店街連合会、港区産業団体連合会、港区観光協会、東京商工会議所港支部、一般財団法人 港区国際交流協会、東京中小企業家同友会港支部、NPO法人 江戸前21、港区リサイクル事業協同組合、J:COM港・新宿・港区